

令和2年度の研究計画 (長周期地震動・詳細震度分布等解析及び同解析結果に基づく応急対応促進)

令和2年度目標

- ◆ 今までに創出された研究成果であるデータ・システムについて、実際の災害情報を活用する者であるビルや道路の管理、保守、点検を行う者、速やかな復興に向けた対応を保険料算出を担う保険業界等において試験運用・フィールド実証を実施し、PRISM制度終了後を見据えた課題抽出を行う。

対象施策の研究内容

- ◆ 【課題】 企業が災害対応する上で必要な情報が不足しているため、民間の活力をいかしたレジリエンスの向上が行えていないこと。
- ◆ 【目標】 民間企業のデータ、長周期地震動のような新しい観測データ、SIP4Dを経由した官のデータ、過去の災害事例などの膨大なデータから作成した教師データをAIに学習させることにより、災害対応判定システムを開発し、状況把握や安全判断を迅速に行えるようにすることで、企業のBCP向上や国民の安全行動の向上に貢献する。これにより産業界での研究開発投資の誘発を見込む。

民間データの活用とSIP4Dによる情報流通・データ連携

参画企業等のデータを共有し、SIP4Dで流通する官の防災情報、地震計などの観測データを連携し膨大なデータを収集する。

教師データ作成

膨大なデータから教師データを作成し、AIに学習させることにより状況把握や安全判断が容易となるアルゴリズムを開発する

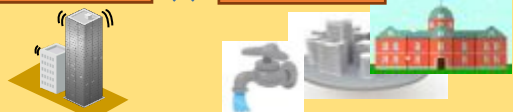
災害対応判定システム

情報提供方法の確立

企業・国民が容易に理解できる情報提供方法を確立
継続的な産業システムへ発展

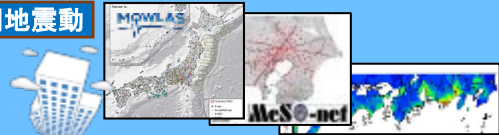
①震度分布の詳細化による早期復旧技術の開発

ビル内地震計 × 公共インフラ



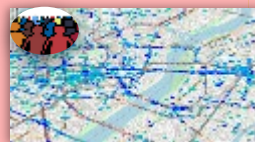
②長周期地震動に即時対応するためのリアルタイム情報の配信技術の開発

長周期地震動



人流

リアルタイム人流情報



SIP4D®



インフラデータプラットフォーム

膨大なデータ



+

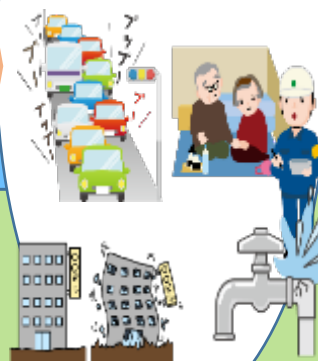
過去の災害事例



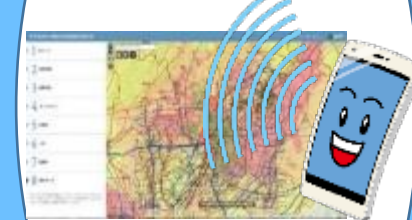
AI学習



状況把握・安全判断



標準手順 × 保険調査



③道路積雪情報等による物流ルート早期把握技術の開発

コネクティッドカー

